

## 第 69 回レンガドック活用イベントの記録

### 1 概要

---

第 69 回レンガドック活用イベントは、MEGURU PROJECT 2022 と連携し、MEGURU PROJECT 開催期間中の令和 4 年 12 月 11 日（日）に浦賀ドック内にあるレンガドック活用センターで郷土史家と浦賀ドック OB による講演会を開催しました。

### 2 講演会の内容

---

#### (1) 実施場所

レンガドック活用センター（浦賀コミュニティ広場内）

#### (2) 実施スケジュール・参加人数

〈スケジュール〉 13:30～14:40（講演会）

14:40～15:00（質疑応答）

〈出演〉 山本 詔一 氏（郷土史家、レンガドック活用イベント実行委員会委員）  
中島 二三男 氏（浦賀ドック OB、ドックと浦賀の歴史を愛する会会長）

〈人数〉 34 人

#### (3) 内容

浦賀ドックについて、初めて訪れた方でも歴史や功績が伝わるようレンガドック建造時の写真などのスライドを用いて、郷土史家 山本詔一氏と浦賀ドック OB 中島二三男氏に解説いただきました。

- ・レンガドックの建造について

当初は現在船台がある場所に建造しようとしていたが、地盤がもろいため、現在の場所に建造することとなった。建造当時は石積みが主流であったが、安価なレンガで建造することになった。現存しているレンガドックは、浦賀と川間だけになっている。

- ・レンガドックの拡張について

レンガドックは建造当初の大きさでは、船の大型化に伴い修理の対応ができなくなりつつあった。そのため、3回にわたりドックを拡張し、最終的に135メートルの長さ、2000トンの大きさの船まで入渠できるようになった。

- ・レンガドックへの入渠について

レンガドックに船を入渠させるには、レンガドック内に水をため、ゲートを開く必要がある。船をレンガドック内に引き込むには、以前は多くの工員が掛け声を上げ協力しながら、ロープで船を曳きこんでいた。ドック内の排水は現存しているポンプ室のポンプを利用して行っていた。



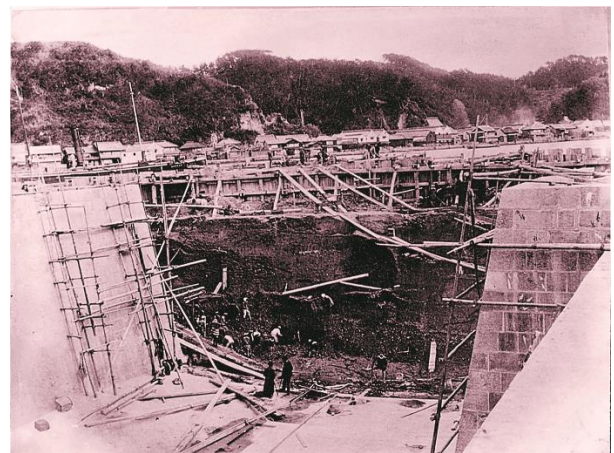
中島二三男氏によるドック内部の解説



山本詔一氏によるレンガドック建造の解説



会場全景



レンガドック建造当時の写真